

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

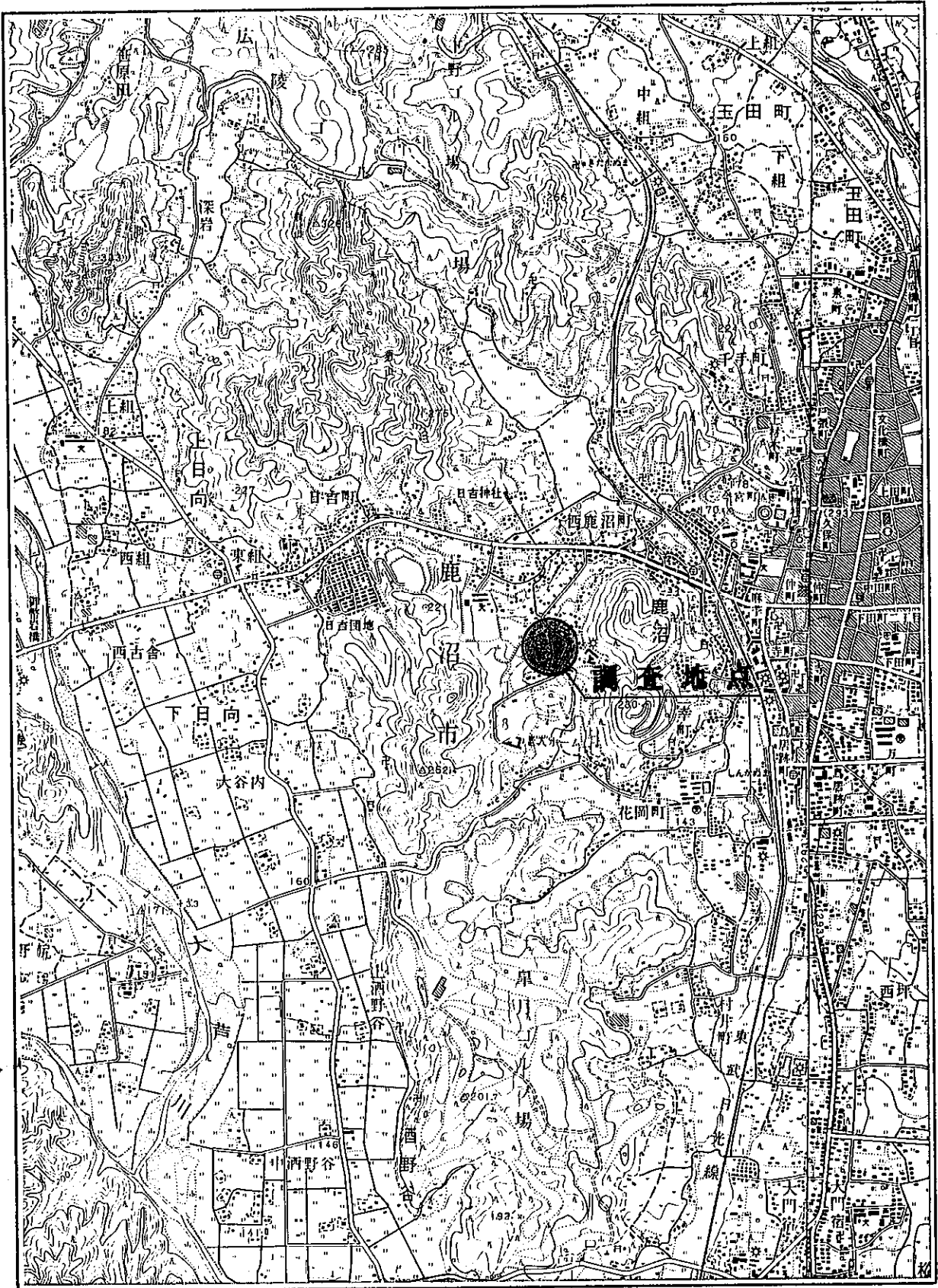
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

調査地案内図

縮尺 1 : 25000



ボーリング柱状図

調査名 大芦川総合開発事務所（仮称）新築設計業務 委託

事業・工事名

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	No. 1		調査位置		廣沼市日吉町312-1		シートNo.		北 緯	
発注機関	(株) 熊倉敬次建築設計事務所		調査期間		平成 7年 6月 12日 ~ 7年 6月 13日		東 経			
調査者名	主任技師		現場代理人		コアア 鑑定者		ボーリング 責任者			
孔口標高	97.1m	角 度	方位		北 0° 東 90° 南 180° 西 270°		ハンマー 落下用具		コーンブリー	
総掘進長	15.20m		使用機種		エンジン		ポンプ		V-6A	

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験 深 度 (m)	試料番号	採取方法	掘進月日
										深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 0 1 2 3 4	貫入量 (cm)				
96.60	0.50	96.60	△△△△	表土	黒褐			上部若干の植物根混じる 以上、部分的に根を混じる やや均質な層相を呈す	8/13 0.90 幸	1.15	2	1	2	5	30	○	6/12
94.75	1.85	94.75	△△△△	ローム	赤褐	中位		火山灰質粘性土 若干の腐植物・有機物混じる 深度1.9m付近より全体的に砂質 を呈す		1.45	3	1	2	6	30	○	
92.90	1.95	92.90	△△△△	軽石	暗黄褐	非常に緩い		粒径1~3mm程度 高含水位 上部全体に強風化帯びる 不均質な層相を呈す		2.15	1	40	1	1	40	○	
91.75	1.05	91.75	△△△△	シルト	暗灰	軟らかい		腐植物多量に混じる 上部全体に粘性に富む 深度5.35m付近、所々小礫等混 じり、不均質な層相を呈す		3.55	1	1	1	1	30	○	
89.10	2.65	89.10	△△△△	砂混じりシルト	暗灰	中位	硬い	上部若干の粘性帯びる 以深2~5mm程度の小礫を混じる 所々、木片等混じる 部分的にシルト・砂の互層状況にあ る		4.15	3	2	1	6	30	○	
85.10	4.00	85.10	△△△△	シルト	暗褐	中位		上部全体に粘性帯びる 所々、木片等・腐植物混じる 含水中位 深度10.00~10.30m付近よ り、薄く砂鉄状 深径11.90m付近より、木片多 量に混じる		5.15	5	2	3	10	30	○	
83.45	1.65	83.45	△△△△	砂混じりシルト	暗灰	中位	硬い	上部若干の粘性帯びる 部分的に小礫・砂分を多量に混じる 含水中位 不均質な層相を呈す		6.15	3	1	6	20	30	○	
81.90	1.55	81.90	△△△△	岩盤	暗緑 ~ 暗灰	密な		上部全体的に強風化帯びる 強風化のため、細粒状コアが主で岩 片状部分も指圧で除ける		7.15	5	2	3	10	30	○	
										8.15	2	1	1	4	30	○	
										9.15	10	6	4	20	30	○	
										10.15	1	1	1	3	30	○	
										11.15	2	3	2	7	30	○	
										12.15	1	2	3	6	30	○	
										13.15	4	3	2	9	30	○	
										14.15	50	50	5	50	5	○	
										15.15	50	50	5	50	5	○	
										15.20						○	